



Title	秋田茂先生の退職を記念して
Author(s)	水田, 大紀
Citation	パブリック・ヒストリー. 2024, 21, p. 1
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/95490
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

秋田茂教授退職記念特集

秋田茂先生の退職を記念して

水田大紀

秋田茂先生が 2023 年度をもって大阪大学をご退職になります。これまで先生からいただいた多大なご学恩に少しでもおこたえするため、『パブリック・ヒストリー』第 21 号では、秋田先生の退職記念特集を組むことにしました。ここでは、研究・教育に多大な貢献をなされた秋田先生に心からの感謝を込め、先生の輝かしいキャリアを簡単に振り返ってみたいと思います。

秋田先生は、広島大学で研鑽を積まれ、大阪外国語大学での奉職を経て、2003 年より大阪大学文学研究科（現人文学研究科）教授に着任されました。大阪大学では、先生は国際的な舞台上で研究・教育活動を積極的に展開されてこられました。特にグローバルヒストリーの分野では独自の視点で深化された研究を行われ、その成果は多くの賞に輝きました。例えば、2003 年に『イギリス帝国とアジア国際秩序』（名古屋大学出版会）により受賞された第 20 回大平正芳記念賞は、その優れたご業績を証明するものです。また、2022 年には紫綬褒章を叙勲され、その功績により大阪大学からも名誉教授の称号を授与されました。

教育の分野でも、秋田先生は熱心に学生たちと向き合われ、西洋史や世界史のみならず、教育論や社会科教育法においても豊富な知識を学生たちに提供されました。さらにはご研究の成果を高大連携に繋げ、2022 年度に高等学校で新たに始まった「歴史総合」科目の創設にも寄与されたことは特筆に値します。先生が尽力されてこられた大阪大学歴史教育研究会に関連しても、『市民のための世界史』の改訂版が 2024 年 3 月に刊行（予定）されることは、先生の歴史教育への取り組みの一端を物語っています。

ご研究に関しては改めて紹介するまでもありませんが、秋田先生が培われた豊かな学際的なネットワークは、学問の発展に貢献するとともに、日本の歴史学界をさらなる国際的な舞台に引き上げる一助となりました。思い起こすに、私が学生だった時分、朝から晩までひたむきに活動しておられる先生の姿に私たちは驚き、先生はなぜ自分たち以上に体力が続くのだろうかと頭を悩ませたこともありました。しかし、その一貫した精力的な活動が、学問への深い情熱から生まれていることは明白でした。

最後に、ご退職を迎えられる秋田先生に心より敬意を表し、これまでのご厚情に感謝を申し上げます。先生が、今後とも益々ご健康で、学界のため、また社会のために広くご活躍されますことを心より祈念しております。